

|       |         |
|-------|---------|
| 普及項目  | 増殖      |
| 漁業種類等 | —       |
| 対象魚類  | アマモ     |
| 対象海域  | 有明海、天草海 |

## 藻場造成活動支援（アマモ場造成）

天草広域本部水産課・郡司掛 博昭 中根 基行

### 【背景・目的・目標（指標）】

本取組みは、有明海再生加速化対策交付金を活用し、近年の高水温等により衰退した天草管内の藻場について、10年間で集中的な再生を図ることを目的として実施した。

実施にあたっては、天草漁業協同組合（上天草総合支所、本渡支所、佐伊津出張所）及び有明町漁業協同組合と連携し、アマモ、ヒジキ、ワカメ等を対象とした藻場造成活動への技術的指導を行うとともに、現場への立会により事業の適正かつ着実な実施を支援した。

### 【普及の内容・特徴】

各漁業協同組合に対して、令和7年（2025年）5月から7月にかけて、アマモのロープ式増殖やヒジキのスポアバック設置に係る設置高の調整、アマモ花枝の麻袋作成等に係る実技指導を行った。また、11月にはワカメ種糸設置方法、12月にはアマモの育苗管理について実技指導を行った。

令和8年（2026年）2月には、有明町漁業協同組合に対して、寒天粘土を用いたアマモ播種について技術指導を実施した。なお、アマモの育苗及び紙粘土ブロックを用いた播種に使用した種子は、普及指導員が8月に採取し冷蔵管理したものを使用した。

### 【成果・活用】

令和7年（2025年）5月から令和8年（2026年）2月までに、計6回の現地指導及び立会を行い、延べ56人の漁業者や漁協職員に対して技術指導を行った。

その結果、アマモ（3手法）、ヒジキ及びワカメについて、各地先の漁業者の技術に応じた造成技術の習得が図られた。

今後は、造成した藻場のモニタリングにより、造成効果を把握し、藻場の維持・拡大に繋げていく。

### 【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100％）



図1 アマモ花枝ロープ設置 (6月: 天草漁業協同組合本渡支所)



図2 ヒジキスポアバック設置 (6月: 天草漁業協同組合佐伊津出張所)



図3 ワカメ種系ロープ設置 (11月: 天草漁業協同組合上天草総合支所)

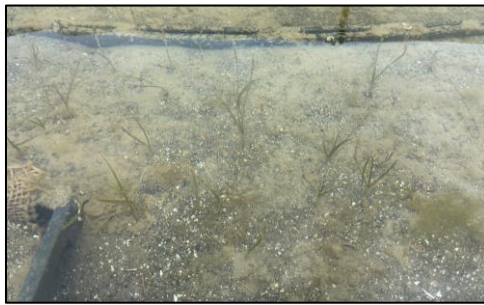


図4 アマモ育苗作業 (12月: 天草漁業協同組合本渡支所)



図5 アマモ寒天粘土播種作業 (2月: 有明町漁業協同組合)